

仙台陣屋かわら版

第七十八号

(平成二十三年八月号)

HP: <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ka/jinya/> Mail: jinya@town.shiraoi.jp
〒059-0911 白老町陣屋町六八一 TEL&FAX 0144-85-2666 仙台藩白老元陣屋資料館発行

仙台市歴史姉妹都市盟約30周年記念 特別展が開幕。講演会、仙台市長来町、 藩士供養、植栽：イベント満載の初日

かねてより準備を進めてきた、平成二三年度、陣屋の特別展がようやく開幕となりました。藩士たちはもちろん、誰もが往來に苦労した津軽海峡に焦点をあて、測量図や航路図から近世史の一端を紐解きます。

誰が書いたか不明の資料もありますが、いずれも当時の人々が知恵を絞り、経験と失敗を積み重ねて築きあげた、航海の危険を減らすための記録です。一方、神仏に安全を祈った信仰資料も豊富に残されています。

南に北に、縦横無尽に湊を渡る傍ら、海難除けの寺社に立ち寄っては祈禱を受け、御守りや護符などを肌身離



さず持ち歩いていたのです。

初日の記念講演では、仙台市の郷土史家佐藤宏一氏が、文化年間にエトロフ・クナシリへ出兵した仙台藩士の実態を紹介し、住みなれない土地で様々な病気に苦しみながらも、幕命に忠実で有り続けた理由についてお話いただきました。

午後には、仙台市から奥山市長らがお越しになりました。あいにくの雨天でしたが、市長はまず藩士墓地で史跡保存会と共に供養をされ、長

年に渡り墓守を続けていた保存会に感謝の言葉を述べられました。続いて資料館前に移動し、飴谷町長と共に藩士が



植えたとされる樹齢百五十年の赤松から培養した苗木を植樹していただきました。東北復興の願いが込められた苗木ですので、現存の赤松同様、大切に見守っていきたいと思います。

ホタルの光で学んでみませんか？

今年も、夏の夜を彩るホタルの季節が巡って来ました。資料館では八月五日(金)・六日(土)の二日間、恒例のホタル観察会を行います。「夏月則練囊盛数十萤火、以照書、以夜繼日焉(意訳・夏はホタルが沢山で、明かりの代わりにすれば夜だって勉強できるよ♪)」と中国の古い言葉でも言われています。ホタルの住める環境が減り続けている現在ではきつと難しいでしょうね。史跡では、天然のハイケボタルが未だに繁殖しています。夏の風物詩を愛でつつ、貴重な自然について考えてみませんか。両日とも八時開始を予定しています。特別展も開催中ですので、合わせてご覧いただければと思います。

★お報せ★

トイシ故障中のため、「陣屋の日」は秋に延期と致します。ご了承下さい。

「仙台陣屋かわら版第七十八号(平成二十三年八月号)」

発行日: 平成二十三年七月二十二日(金)

発行所: 仙台藩白老元陣屋資料館 担当者: 平野・干場